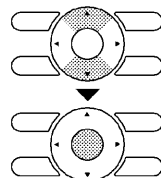
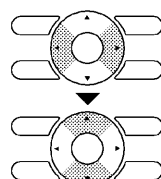
時計設定

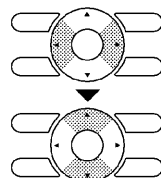
■時計の設定方法

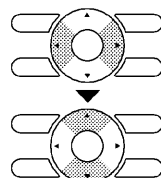
操作方法

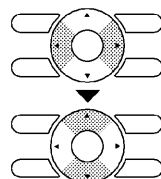
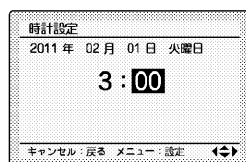
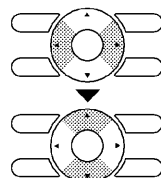
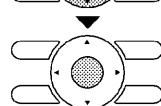
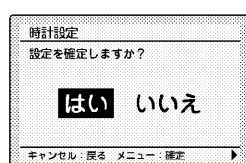
1

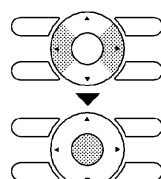
●メインメニュー画面を表示させます。
（17 ページ参照）
●メインメニュー画面で「▼▲」ボタンを押して 時計設定 を選択します。
「メニュー／確定」ボタンを押すと、時計設定画面が表示されます。

2

●「◀▶」ボタンを押して「年」を選択します。
「▼▲」ボタンで設定します。
押し続けると連続で変わります。

3

●「◀▶」ボタンを押して「月」を選択します。
「▼▲」ボタンで設定します。
押し続けると連続で変わります。

4

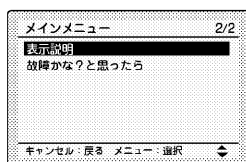
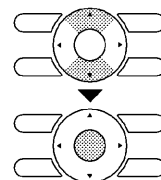
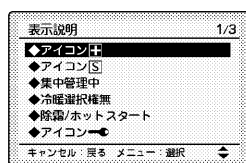
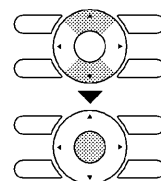
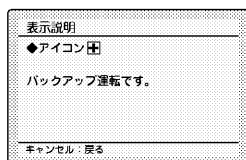
●「◀▶」ボタンを押して「日」を選択します。
「▼▲」ボタンで設定します。
押し続けると連続で変わります。
曜日は自動で変わります。

5

●「◀▶」ボタンを押して「時」を選択します。
「▼▲」ボタンで設定します。
押し続けると連続で変わります。

6

●「◀▶」ボタンを押して「分」を選択します。
「▼▲」ボタンで設定します。
押し続けると連続で変わります。
●「メニュー／確定」ボタンを押します。
設定確定画面が表示されます。

お知らせ
日付の有効範囲は2010年1月1日～2099年12月31日です。

7

●設定確定画面で「◀▶」ボタンを押して はい を選択します。
「メニュー／確定」ボタンを押すと、時計を設定し、基本画面に戻ります。

※スケジュールタイマー・デマンド・静音モード設定の場合は、各設定画面に戻ります。

表示説明

■表示説明の操作方法

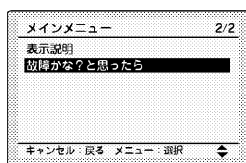
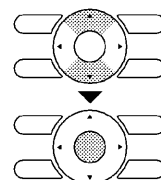
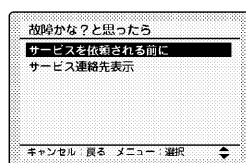
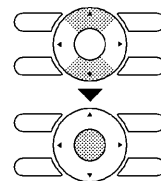
操作方法

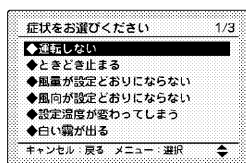
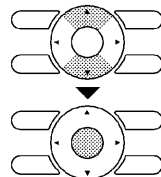
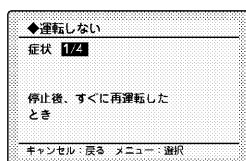
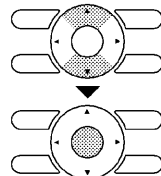
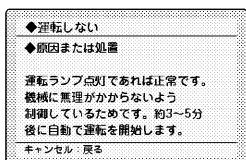
1

●メインメニュー画面を表示させます。
（17 ページ参照）
●メインメニュー画面で「▼▲」ボタンを押して 表示説明 を選択します。
「メニュー／確定」ボタンを押すと、表示説明一覧画面が表示されます。

2

●表示説明一覧画面で「▼▲」ボタンを押してご希望の項目を選択し、「メニュー／確定」ボタンを押します。

3

●表示説明の説明文が表示されます。
●「キャンセル」ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

故障かな？と思ったら

■サービスを依頼される前に

操作方法 表示された症状と同じであれば、故障ではありません。

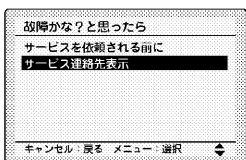
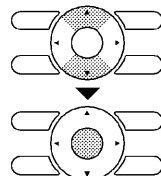
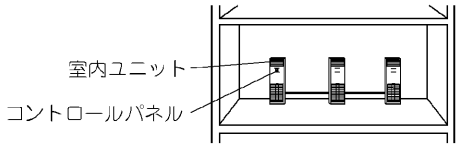
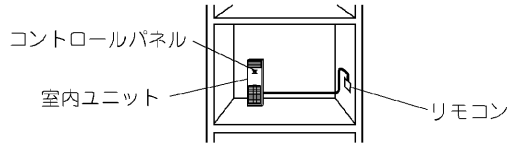
1

●メインメニュー画面を表示させます。
（17 ページ参照）
●メインメニュー画面で「▼▲」ボタンを押して 故障かな？と思ったら を選択します。
「メニュー／確定」ボタンを押すと、
「故障かな？と思ったら」画面が表示されます。

2

●「故障かな？と思ったら」画面で「▼▲」ボタンを押して サービスを依頼される前に を選択します。
「メニュー／確定」ボタンを押すと、
「症状をお選びください」画面が表示されます。

故障かな？と思ったら

3

●「症状をお選びください」画面で「▼▲」ボタンを押して現在の状況を選択します。
「メニュー／確定」ボタンを押すと、症状画面が表示されます。

4

●症状が複数ある場合は、「▼▲」ボタンを押すごとに症状例が変更します。
「メニュー／確定」ボタンを押すと、原因画面が表示されます。

5

●原因を確認します。
●「キャンセル」ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

■サービス連絡先の表示方法

操作方法

1

▼

●「故障かな？と思ったら」画面を表示させます。
（49 ページ参照）
●「故障かな？と思ったら」画面で「▼▲」ボタンを押して **サービス連絡先表示** を選択します。
「メニュー／確定」ボタンを押すと、左のサービス連絡先表示が表示されます。
上部にサービス連絡先の電話番号が表示されます。
（登録されていなければコンタクトセンターのみが表示されます。）
下部に親機の室内ユニットと室外ユニットの機種名が表示されます。
（機種によっては機種コードが表示される場合があります。）
※修理などでプリント基板を交換した場合は機種名が表示されません。

複数台同時運転の場合

複数台の室内ユニットを同時に運転できるシステムになっている場合

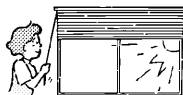
1つのコントロールパネルでグループ制御	リモコン併設による制御
● 1つのコントロールパネルで最大16台まで運転操作できます。 ● すべての室内ユニットが同じ設定となります。 	コントロールパネルとリモコンで1台(グループ制御の場合は1グループ)の室内ユニットを運転操作できます。 ● コントロールパネルは別置きすることでリモコンとしてご使用になれます。

お願い

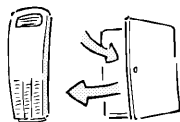
● グループ制御・2リモコン制御の組合わせや設定を変更される場合はご自分でなさらずに、必ずお買上げの販売店にご依頼ください。

上手な使いかた

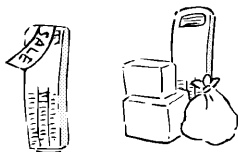
●冷房中は直射日光を入れるのはやめましょう

窓にはカーテンかブラインドをつけてください。

禁止

●ドアや窓を開けたままにするのをやめましょう

運転効率が悪くなります。

禁止

●吹出口・吸込口の近くにものを置くのをやめましょう

能力が低下、または運転が停止することがあります。

禁止

●冷やし過ぎ・暖め過ぎに注意しましょう

電気のムダ使いになります。

●エアフィルターはこまめに清掃しましょう

汚れたまま運転すると能力の低下、または故障の原因になることがあります。

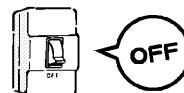
52,53 ページ参照

●テレビ・ラジオ・ステレオなどは室内ユニットやリモコンから1m以上離しましょう

映像が乱れたり、雑音が入ることがあります。

●長時間使用しないときは電源ブレーカーをしゃ断しましょう

電源ブレーカーが入っていると、数ワット~数十ワットの電力(※1)を消費するためです。**ただし、機械保護のため、再運転するときは必ず6時間以上前に電源を入れてください。**

(※2)

(※1) 停止中の消費電力は、室外ユニットの機種により異なります。

(※2) 設定は、電源ブレーカーをしゃ断する前の状態を記憶しています。(タイマー設定は消去されます。)

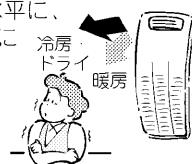
●風向調節を上手に使いましょう

冷たい空気は下に、暖かい空気は上にたまります。風向は、冷房·ドライ時は水平に、暖房時は下向きにして、体に

直接当てないようにしてください。

冷房・ドライ

暖房

12,13 ページ参照

●タイマー運転を有効に使いましょう

室温が設定温度になるまで時間がかかります。タイマー運転を活用し、事前に運転を開始してください。

⚠警告

●可燃性のガス（ヘアスプレーや殺虫剤など）は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。

禁止

⚠注意

●エアコンを水洗いしない
漏電によって感電や火災の原因になることがあります。

水ぬれ禁止

●お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーをしゃ断する
電源ブレーカーをしゃ断しないと、感電やけがの原因になることがあります。

お願い
- 清掃時以外は、エアフィルターを外さないでください。故障の原因になることがあります。
- 吸込口に正規のエアフィルター以外のもの(キッチンペーパーなど)を取り付けないでください。性能が低下し、凍結・水もれの原因になることがあります。

日常のお手入れ

エアフィルターの清掃のしかた①

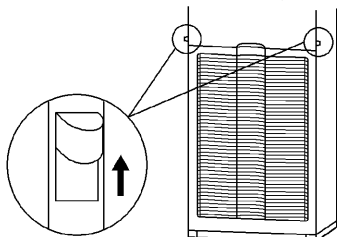
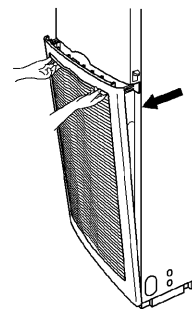
コントロールパネルに「フィルターのお手入れ時期です」が表示されたら、清掃してください。

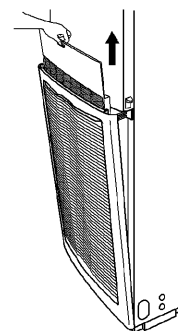
- 一定時間運転すると表示します。

お願い
- 表示されるまでの時間を変更することができます。汚れの多いところでご使用になる場合はお買上げの販売店へご連絡ください。

汚れ	表示されるまでの時間
標準	2500時間(1年相当)
多い場合	1250時間(半年相当)

- 汚れがとれなくなりましたらエアフィルターを交換してください。（交換用エアフィルターは別売品です。）
59 ページ参照
- 油分の多い雰囲気環境での使用はやめましょう。油分が付着した場合、こまめにエアフィルターや吸込グリルを清掃してください。

1. 吸込グリルのロックを外します。
ロックレバーを上げて、ロックを外してください。

2. 吸込グリルを開けます。
ゆっくり手前に引いてください。

お願い
- 少ししか開かないようになっています。無理に引っぱらないでください。

3. エアフィルターを取り出します。
ゆっくり上へ引き上げてください。

4. 清掃します。
汚れは電気掃除機、または水洗いで清掃してください。

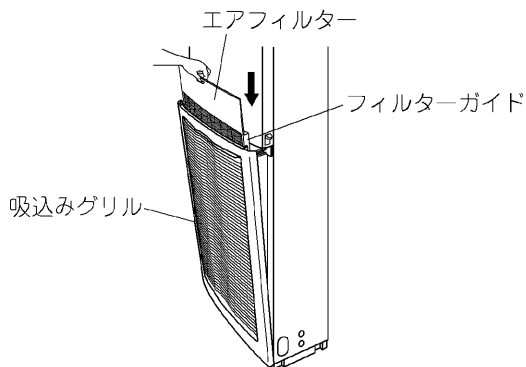
汚れがひどい場合、柔らかいブラシや中性洗剤を使って洗ってください。 ➡ 水切りし、日陰で乾かしてください。

お願い
- 50℃以上のお湯で洗わないでください。変色や変形の原因になることがあります。
- 火であぶらないでください。燃える原因になることがあります。

お手入れについて

エアフィルターの清掃のしかた②

5.エアフィルターを取り付けます。

3と逆の手順で吸込みグリルのフィルターガイドにそって取り付けてください。

6.吸込グリルを閉めます。

2と逆の手順で閉めてください。

7.吸込グリルにロックをします。

1と逆の手順でロックレバーを下げてください。

8.コントロールパネルの「フィルターのお手入れ時期です」の表示を消します。

- メインメニューよりフィルターサインリセットを行ってください。（53 ページ参照）
- 運転中、停止中のどちらの状態でも表示を消すことができます。

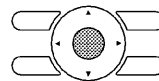
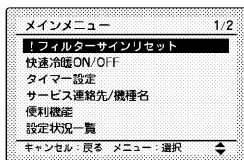
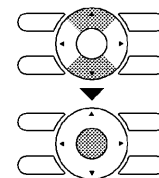
フィルターサインリセットのしかた

1

●フィルターまたはエレメントのお手入れ時期になると、基本画面の下に次のいずれかが表示されます。
『フィルターのお手入れ時期です』
『フィルター・エレメントのお手入れ時期です』
『エレメントのお手入れ時期です』

●フィルターの洗浄・清掃・交換を行ってください。
（52,53 ページ参照）

2

●フィルターまたはエレメントのお手入れが終わったらフィルターサインのリセットをします。
●「メニュー／確定」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

3

●メインメニュー画面で「▼▲」ボタンを押して **！フィルターサインリセット** を選択し、「メニュー／確定」ボタンを押します。

●基本画面で、1の表示が消えます。
フィルターサインリセットの完了です。

吹出口・吸込グリル・外装・コントロールパネルの清掃のしかた

- 柔らかい布でからぶきしてください。
- 汚れがとれないときは、水でうすめた中性洗剤にひたしてよく絞った布でふきとった後、からぶきしてください。
- 吹出口の羽根を清掃するときは、羽根に手をそえてふいてください。
（羽根を強く押し清掃すると羽根が外れる原因となります。）

- **ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。**
- **50℃以上のお湯を使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。**

シーズン始め・終わりのお手入れ

シーズン始め

確認してください。

- 室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？
障害物がある場合は取り除いてください。
障害物は風量低下による能力低下や機器の故障の原因となります。

エアフィルターと外装を清掃してください。

- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。
清掃のしかたは 52-54 ページ参照
- 清掃後は、コントロールパネルのメインメニューよりフィルタサインリセットを行ってください。
（53 ページ参照）

6時間以上前に電源ブレーカーを入れてください。

- 機械保護のためと、始動を円滑にするためです。
- 電源ブレーカーを入れると、コントロールパネル表示部が点灯します。

電源ブレーカー投入後、6時間以内の暖房運転について

- 機種シリーズによっては、機器保護のため下記運転動作を行う場合があります。
電源ブレーカー投入後、6時間以内に暖房運転をした場合、機器保護のために室外ユニット運転中に室内ファンが約10分間停止します。
上記運転は据付時のみでなく、電源ブレーカーを切/入するごとに行います。
快適にご使用いただくために、暖房シーズン中は電源ブレーカーを切らないことをおすすめします。

シーズン終わり

晴れた日に半日ほど送風運転をし、内部をよく乾燥させてください。

- カビなどの原因になるためです。

電源ブレーカーをしゃ断してください。

- 電源ブレーカーが入っているときは、数ワット～数十ワットの電力を消費します。
節電のためにも電源をしゃ断してください。
- 電源ブレーカーがしゃ断されると、コントロールパネル表示部が消灯します。

エアフィルターと外装を清掃してください。

エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。
清掃のしかたは 52-54 ページ参照

調子がおかしいときは

■コントロールパネルからの確認のしかた

メインメニューの **故障かな？と思ったら** より確認してください。（49 ページ参照）

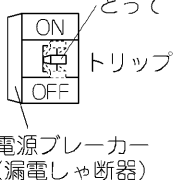
■次の内容でも確認できます。

次の場合は、故障ではありません。

●電源ブレーカー投入後、6時間以内の暖房運転について

機種シリーズによっては、機器保護のため下記運転動作を行う場合があります。
電源ブレーカー投入後、6時間以内に暖房運転をした場合、機器保護のために室外ユニット運転中に室内ファンが約10分間停止します。
上記運転は据付時のみでなく、電源ブレーカーを切/入するごとに行います。
快適にご使用いただくために、暖房シーズン中は電源ブレーカーを切らないことをおすすめします。

症状		原因	確認内容
運転しない	停止後、すぐに運転したとき	機械に無理がかからないようにコントロールしているためです。	コントロールパネルの運転ランプが点灯していれば正常です。約3〜5分後に自動で運転を開始します。
	温度調節ボタンを押して、すぐ元の設定に戻したとき		
	コントロールパネルに集中管理中が表示され、操作ボタンを押すと「集中管理されています。このリモコンからは操作できません。」と表示されたとき	集中機器により、コントロールされているためです。	表示の点滅はそのコントロールパネルで操作できないことを示します。
	電源ブレーカーを入れたとき	運転準備のためです。	6時間以上待ってから運転してください。
	室外ユニットが停止	室温が設定温度に達しているためです。室内ユニットは送風運転となります。	冷房（自動冷房）：設定温度を下げてください。暖房（自動暖房）：設定温度を上げてください。しばらくして運転開始すれば正常です。
	コントロールパネルに「除霜/ホットスタート」が表示され、温風が止まる	室外ユニットに霜が着くと暖房能力が下がるので、自動で除霜運転をしているためです。	約6〜8分（最長10分）で、元の運転に戻ります。
ときどき止まる	コントロールパネルに「U4」「U5」と表示され、停止するが数分で運転を再開する	エアコン以外の機器からの電気雑音（ノイズ）によりユニット間の通信がしゃ断されて停止しているためです。	電気雑音（ノイズ）がなくなると自動で運転を再開します。
風量が設定どおりにならない	風量調節ボタンを押しても風量が変わらない	冷房運転中の場合、溶けた水が飛ぶのを防ぐため、風量「弱」運転になります。また、除霜運転中（暖房運転時）の場合、直接風が当たらないようエアコンの風は停止します。	しばらくすると、風量を変えることができます。（マイコンドライ運転中は風量設定できません。）
		暖房運転中の場合、室内温度が設定温度に達したときは室外ユニットは停止し、室内ユニットは微風運転になります。風量の切換え完了までに時間がかかります。	設定温度を上げてください。しばらくすると風量が変わります。
白い霧が出る	冷房時、湿度が高いとき（油分やホコリの多い場所）	室内ユニット内部の汚れがひどい場合に、湿度ムラが生じるためです。（※1）	使用環境を確認してください。
	除霜運転中および除霜運転終了後、暖房運転に切り換わったとき	霜が溶け、湯気となって出てくるためです。	コントロールパネルに「除霜/ホットスタート」の表示が出ていれば除霜運転中です。

●暖房運転の特性・冷房運転の特性（10 ページ）、マイコンドライ運転について（11 ページ）を一読してください。
（※1）室内ユニットの内部の洗浄が必要です。洗浄には専門の技術が必要ですのでお買上げの販売店にご依頼ください。

次の場合は、故障ではありません。

症状		原因	確認内容
音が出る	運転開始直後の「ジーン」という音	風向羽根を動かす電動機が作動している音です。	1分くらいで音が小さくなります。
	冷房時や除霜時の「シュー」というかすかな連続音	エアコン内部にガス（冷媒）が流れている音です。	ー
	運転開始･停止直後、除霜開始・停止直後の「シュー」という音	ガス（冷媒）の流れが止まる音または流れが変わる音です。 暖房運転時は自動で除霜運転に切り換わりコントロールパネルに「除霜/ホットスタート」が表示されます。	約6〜8分（最長10分）で、元の運転に戻ります。
	運転中や停止後の「シャー」「ジュルジュル」というかすかな連続音	ドレン排出装置が動作している音です。（※2）	ー
	運転中と運転停止後の「ピシピシ」というキシミ音	樹脂部品が温度変化により伸縮するためです。	ー
ホコリが出る	長時間運転停止後、ふたたび運転を始めるとき	室内ユニット内部に付着したホコリが吹き出るためです。	ー
ニオイが出る	運転中	部屋のニオイ・たばこのニオイなどが室内ユニット内部で吸着されて吹き出すためです。	ニオイが気になる場合、室内温度が設定温度に達したときの風量を風量なしに設定できます。 詳細はお買上げの販売店にご連絡ください。
風向がコントロールパネルの表示と異なる	コントロールパネルに「スイング」が表示されているが風向羽根がスイングしない	〈暖房時〉運転開始直後や設定温度より室温が高いときに真中吹出しに風向をコントロールしているためです。	しばらくするとスイングします。 10ページ参照
	コントロールパネルの風向表示と風向羽根の動きが異なる	〈暖房時〉運転開始直後や設定温度より室温が高いときに真中吹出しに風向をコントロールしているためです。	しばらくすると設定の風向になります。 10ページ参照
よく冷えない	マイコンドライ運転中	マイコンドライ運転は、室内温度をできるだけ下げないような運転をするためです。	冷房運転で室内温度を下げてからマイコンドライ運転をしてください。 11ページ参照

●暖房運転の特性・冷房運転の特性（10ページ）、マイコンドライ運転について（11ページ）を一読してください。
（※2）冷房運転中に取り除かれた室内の水分を排出します。（ドレン排出装置は別売品です。）

サービスを依頼される前にお調べください。

症状	原因	処置
全然運転しない	電源ヒューズが切れていませんか？	電源ブレーカーをしゃ断してください。
	電源ブレーカーがしゃ断されていませんか？	●電源ブレーカーのとってがOFF位置の場合は、電源を入れてください。 ●電源ブレーカーのとってがトリップ位置の場合は、電源を入れないで販売店にご連絡ください。 （図：ON／OFF／とって／トリップ／電源ブレーカー（漏電しゃ断器））
	停電ではありませんか？	停電復帰後、再運転してください。
運転するとすぐに止まる	室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰まりしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。 エアフィルターの目づまりは風の流れを悪くし、冷房や暖房能力が低下し電気のムダ使いになります。 また、吹出口などに結露する原因になります。 52,53 ページ参照
よく冷えない、よく暖まらない	室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？	障害物を取り除いてください。 障害物がある場合、風量低下や吹き出した風を吸い込み、能力が低下する原因になります。 電気のムダ使いにもなり、機器が停止する原因につながります。
	エアフィルターが目詰まりしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。 エアフィルターの目づまりは風の流れを悪くし、冷房や暖房能力が低下し電気のムダ使いになります。 また、吹出口などに結露する原因になります。 52,53 ページ参照
	設定温度は適正ですか？	適正な温度・風量・吹出風向に設定してください。
	設定風量が「弱」になっていませんか？	
	風の吹出方向は適正ですか？	
	窓や扉が開いていませんか？	しっかり閉めてください。
〔冷房時〕	直射日光が入っていませんか？	窓にカーテン・ブラインドをつけてください。
〔冷房時〕	在室人員が多すぎませんか？	－
〔冷房時〕	室内に熱源(OA機器など)が多すぎませんか？	
運転/停止ボタンを押さないのに運転・停止した	入/切タイマー運転をしていませんか？	有効/無効設定画面で［無効］を押してください。
	遠方制御機器を接続されていませんか？	停止を指示した集中管理室などへ連絡・確認をしてください。
	集中管理中の表示が点灯していませんか？	
	停電自動復帰を設定していませんか？	運転/停止ボタンを押して停止してください。

以上のことをお調べになったうえで、なお調子が良くないときはご自分で修理しないで、お買上げの販売店にご依頼ください。
このとき、症状と機種名(保証書または吸込グリル内の機種名銘板(4 ページ参照)に記載)をお知らせください。

次の場合は販売店へご連絡ください。

⚠警告

●**異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源ブレーカーをしゃ断する**
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。
お買上げの販売店にご連絡ください。

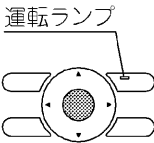
症状	次の処置をしてから連絡を
電源ヒューズ・電源ブレーカー・漏電しゃ断器などの安全装置が作動する。	電源を入れないでください。
運転スイッチの作動が不確実。	電源をしゃ断してください。
エアコンから水がもれる。	運転を停止してください。
コントロールパネルの基本画面に次のいずれかの表示が点滅する。 『異常：メニューボタンを押してください』 ※運転ランプは点滅 『警報：メニューボタンを押してください』 ※運転ランプは点灯	下記の手順で、異常コードをお調べください。 コントロールパネルの表示内容を連絡してください。

〈異常コードの表示方法について〉

1

●異常の場合、コントロールパネルの基本画面に次のいずれかの表示が点滅します。
『異常：メニューボタンを押してください』
※運転ランプは点滅
『警報：メニューボタンを押してください』
※運転ランプは点灯
●「メニュー／確定」ボタンを押します。

2

異常コード：A1
販売店連絡先
×××−×××−×××
ダイキンコンタクトセンター
0120−88−1081
室内ユニット機種名　FVP80BA
室外ユニット機種名　RZZP80BBT
キャンセル：戻る

●異常コードが点滅し、連絡先と機種名を表示します。
●お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターに、「異常コード」「機種名」をお知らせください。
※「機種名」が表示されない場合もあります。
（プリント基板を交換した場合など）
「機種名」が表示されない場合は、保証書に記載の「機種名」をお知らせください。

別売品について

エアコンの機能を幅広くご利用いただけるように、専用部品を用意しております。
ご入用のときにはダイキン純正品とご指定ください。詳細はお買上げの販売店にお問合わせください。

⚠警告

●別売品の取付けは、自分でしない
(交換用別売品は除きます)
別売品は当社指定以外のものは使用しない

取付けに不備があると、水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご依頼ください。
(裏表紙参照)

禁止

交換用別売品

- **交換用ロングライフフィルター** ………… 汚れがとれなくなったとき、交換してください。

製品の種類と運転音

仕様一覧表

項目 \ FVP~BA			50	56	63	71	80	112	140	160
種類	機能		冷暖房兼用形							
	ユニット構成		分離形							
	凝縮器の冷却方式		空冷式							
	送風方式		直接吹出形							
	定格冷房能力(kW)		4.5	5.0	5.6	6.3	7.1	10.0	12.5	14.0
	定格ヒートポンプ暖房標準能力(kW)		5.0	5.6	6.3	7.1	8.0	11.2	14.0	16.0
運転音(dB)	室内ユニット	急	42	42	43	43	43	50	51	53
		強	40	40	41	41	41	47	48	51
		弱	38	38	38	38	38	44	46	48

(注) ● 運転音はJIS B 8616(日本工業規格)に準拠し、無響室換算したときの値です。
実際に据え付けた状態で測定すると周囲の騒音や反射を受け、表示値より大きくなるのが普通です。
● この値は製品改良のため予告なく変更することがあります。

安全にお使いいただくために

●本機は業務用エアコンです。
62ページの表1.「点検周期」と「保全周期」の一覧にしたがい適切な保全行為を行ってください。

●家庭用として設計上の標準使用期間を超えて使用する場合は、お買上げの販売店に点検を依頼してください。
設計上の標準使用期間は長期使用製品安全表示銘板に表示しています。

（銘板位置は 4 ページ参照）

設計上の標準使用期間についての詳細は下記をご覧ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

■本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を行っています。

※【設計上の標準使用期間】　10 年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

※設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件下での経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。製造年は室内ユニットの機種名銘板の中に西暦4桁で表示してあります。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件　日本冷凍空調工業会自主基準による

	項　　目	規　　定
環境条件	電源電圧	単相200V または三相200V
	周波数	50/60Hz
	冷房室内温度	27 ℃（乾球温度）
	冷房室内湿度	47%（湿球温度 19 ℃）
	冷房室外温度	35 ℃（乾球温度）
	冷房室外湿度	40%（湿球温度24 ℃）
	暖房室内温度	20 ℃（乾球温度）
	暖房室内湿度	59%（湿球温度 15 ℃）
	暖房室外温度	7 ℃（乾球温度）
	暖房室外湿度	87%（湿球温度6 ℃）
	設置条件	製品の据付説明書による標準設置
負荷条件	住宅	木造平屋，南向き和室，居間
	部屋の広さ	機種能力に見合った広さの部屋（畳数）
想定時間	1年当たりの使用日数	東京モデル 冷房：6月2日から9月21日までの112日間 暖房：10月28日から4月14日までの169日間
	1日当たりの使用時間	冷房：9時間／日 暖房：7時間／日
	1年間の使用時間	冷房：1,008時間／年 暖房：1,183時間／年

- 設置状況や環境、使用ひん度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

アフターサービスと保証について

アフターサービスについて

⚠警告

●分解や改造・修理をしない
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

禁止

●移動・再設置は、自分でしない
据付けに不備があると、
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

禁止

●冷媒がもれたら火気厳禁
エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常もれることはありませんが、万一、冷媒が室内にもれ、
ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。
冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、
運転してください。

禁止

フロンについて

1) 地球温暖化防止のため、この製品を廃棄・整備する
場合には、フロン類を回収する必要があります。
2) 本機には以下に示す量のフロン類が使用されています。
P50〜P80形の場合　：CO_2　4,700kg相当
P112〜P160形の場合：CO_2　9,400kg相当
3) 上記2)の数値は、本機が接続されている室外ユニット
や接続室内ユニット台数、配管長などにより異なります。
システム全体での数値は、室外ユニットに表示されています。

この表示はエアコンに温暖化ガス
（フロン類）が封入されていることを、
ご認識いただくための表示です。

■修理を依頼されるときは　次のことをお知らせください。

- ●機種名
- ●製造番号と据付年月日
}保証書に記載してあります。
- ●故障状況 ── できるだけ詳しく
（コントロールパネルの表示内容もお知らせください。）
- ●ご住所・お名前・お電話番号

■無料修理保証期間経過後の修理について

お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
当社は、このエアコンの補修用性能部品を製造打切り後10年間保有しています。

■保守点検契約のおすすめ

エアコンを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能が低下することがあります。
分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をおすすめします。

■点検と保全周期の目安について

[保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

表１は次の使用条件が前提となります。
①ひんぱんな運転・停止のない、通常のご使用状態であること。
（機種により異なりますが、通常のご使用における運転・停止の回数は、6回／時間以下を目安としています。）
②製品の運転時間は、10時間／日、2500時間／年としています。

●表1.「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期［交換または修理］
圧縮機	1 年	20,000時間
電動機（ファン･ルーバー･ドレンポンプ用など）		20,000時間
プリント基板類		25,000時間
熱交換器		5 年
電子膨張弁		20,000時間

主要部品名	点検周期	保全周期［交換または修理］
バルブ（電磁弁、四方弁など）	1 年	20,000時間
センサー（サーミスタ･圧力センサーなど）		5 年
ドレンパン(注3)		8 年
コントロールパネルおよびスイッチ類		25,000時間
ファン		室外:10年、室内:13年

注１．本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
注２．この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。
　　　適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
　　　また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
注３．建築物衛生法（旧ビル管理法）の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。
注４．「保全周期」および「交換周期」は、使用条件（運転時間が長い、運転・停止ひん度が高いなど）や
　　　使用環境(高温、多湿など）がきびしくなると短縮する必要があります。
詳細は、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにお問合わせください。

■消耗部品の交換周期目安について

［交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］

●表2.「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5 年
ヒューズ		10年

主要部品名	点検周期	交換周期
クランクケースヒーター	1年	8 年

注１．本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
注２．この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示しています。
　　　適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。

詳細は、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにお問合わせください。
なお、当社が指定した業者以外による分解や内部清掃に起因する故障については、保証対象外となることがありますのでご注意ください。

■移設および廃棄などについて

転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買上げの販売店または
ダイキンコンタクトセンターにご相談ください。
この製品は「フロン回収・破壊法」に定める「第一種特定製品」です。
●この製品を廃棄またはリサイクル（部品や材料の再利用）する場合には「フロン回収・破壊法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・書面管理が義務付けられています。
●この製品を移動・再設置する場合で、冷媒回収が必要なときは「フロン回収・破壊法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊が義務付けられています。
いずれの場合も、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。
●製品を廃棄する場合は、地域の条例にしたがって適正に処理してください。

■ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにお問合わせください。

保証書について

●この製品には保証書がついています。
保証書は、お買上げの販売店で所定事項を記入して
お渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ、
エアコンを管理している方が大切に保管してください。

保証期間…据付日から1年

詳細は保証書をよくお読みください。

●保証期間内に無料修理を依頼されるときは、お買上げの
販売店またはダイキンコンタクトセンターにご連絡のうえ、
修理のときは「保証書」を必ずご提示ください。
ご提示のない場合は、無料修理保証期間中であっても
サービス料をいただくことがありますので、保証書は
大切に保管してください。

お客様ご相談窓口

商品に関する修理・消耗部品のご用命や取扱いのご相談などすべてのお問合わせは下記の ご購入店 へご連絡ください。

ご購入店名	TEL	据付年月日　年　月　日

緊急時には下記コンタクトセンターへご連絡ください。
電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

ダイキンコンタクトセンター（お客様総合窓口）	フリーダイヤル 0120-88-1081（全国共通フリーダイヤル） FAXでのお問合わせは　0120-07-0881（FAX専用フリーダイヤル） http://www.daikincc.com（ご相談対応ホームページ）

営業時間：24時間365日対応いたします。
対応業務：商品に関するすべてのご相談・お問合わせをお受けいたします。
（修理、メンテナンス、取扱い、機種選定および別売品・消耗品・補用部品の販売など）

1101

ダイキン工業株式会社

本　社　大阪市北区中崎西二丁目4番12号　梅田センタービル
郵便番号　530-8323

東京支社　東京都港区港南二丁目18番1号　JRの品川イーストビル
郵便番号　108-0075

3P262523-9H　M10A050A (1104) FS